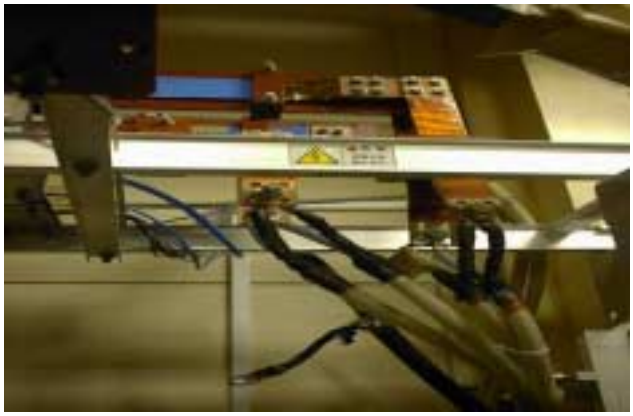
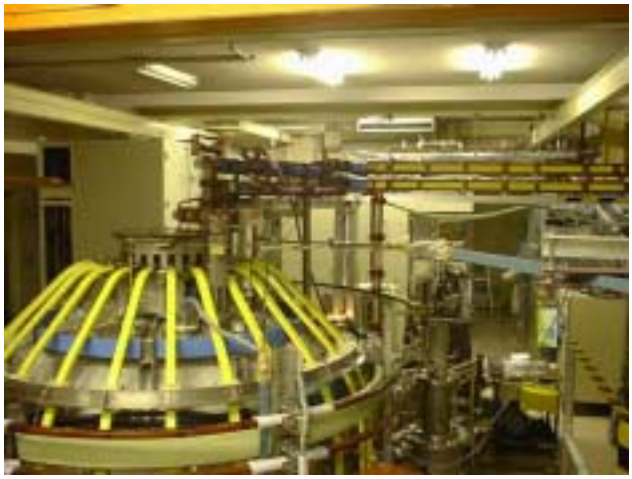


OH2nd 系ブースバー接続点（本体室ーバンク室）
接続部品点数は不明だが、再び設置するとき再び作り直すと考えられる。

上記の　ブースバーの続き
直線の銅バーからできているため、再利用可能。

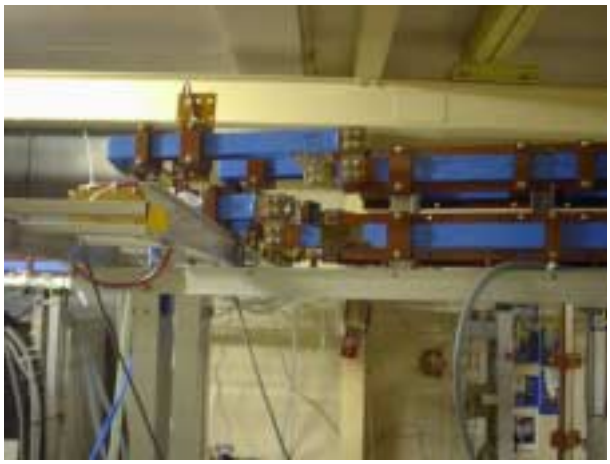
ブースバーの接続点
OH1st,2nd、などを接続点



OH、TF,、PF などのブースバー
本体につなげる箇所は積極的に再利用すべきだが、残りの部品については不明。
詳細は写真参照

OH1st,TF からのブースバー

本体へのつながるブースバー
ここは再利用する価値のあると思われる箇所



本体への最後のカーブ
いろいろと込み合っているが、基本的には 4 系統の入力ルートがある。

本体へつながるブースバー部

本体への接続部の拡大図

以下調査中